

**(1) 夏期現職研修セミナー報告****① 実施日時・場所・参加者**

日 時：平成30年9月1日（土） 10：00～16：00  
 会 場：東京学芸大学附属世田谷中学校 多目的教室  
 参加者：本校教員・現職中高教員・大学教員・大学生

**② 内容の概略**

本年より、本校数学科の研究テーマでもある「深い学び」を1つのテーマに、深い学びにつながる数学的活動を通じた授業をつくるための手立て等について、具体例を交えながら講義・演習を行った。

- 講演1 傍士 輝彦（本校教諭）「現実世界の課題を数学化する」  
 講演2 峰野 宏祐（本校教諭）「数学的な見方・考え方と深い学び」  
 講演3 羽住 邦男（電気通信大学）「「深い学び」につながる数学的活動を通じた学習指導」  
 講演4 鈴木 誠（本校教諭）「作図の単元構成についての提案」

**【授業づくりの部】数学的活動を通じた授業づくり**

はじめに「深い学び」につなげる数学的活動を通じた授業づくりについて、本校教諭よりその具体的な実践の報告をもとに講義を行った。その後、数学的活動を通じた授業づくりと題して、参加者各自が自由に教材を選んで簡単な指導案をつくり、それを全体で共有し討議した。今回はグループワークの時間を設け、つくった授業をグループ内で発表し、その討議を行った上で、いま一度「深い学び」を実現するための授業づくりのポイントについて、それぞれのグループでまとめて全体で共有した。グループは教員経験や立場がばらけるように配慮したため、それぞれの視点からの意見を共有することができた。事後アンケートから見ても、好評であった。

**(2) 春期現職研修セミナー報告****① 実施日時・場所・参加者**

日 時：平成31年3月21日（木） 9：30～16：00  
 会 場：東京学芸大学附属世田谷中学校 多目的教室  
 参加者：本校教員・現職教員・大学教員等 計52名

**② 内容の概略**

前年度までに引き続き、公開授業研究会の形式で実施した。1・2年生を対象に、本校の鈴木、傍士の2名が授業を行った。1年鈴木実践では、3つの連続する整数の性質を発展的・統合的に深めていく実践であった。また2年傍士実践では、平均値の意味について、様々な場面をもとに問い直していく実践であった。今回の協議会では、より多くの先生方からのご意見を頂くために、参観の先生方に事前に「質問」「意見」の色分けした付箋を記入してもらい、それを時系列でホワイトボードに貼ってもらった。授業全体を通して授業者が考えたことや参観の先生方の意見が共有できる形として実践できた。

講師として、元本校教諭であり、現岩手大学教授の山崎浩二先生をお招きし、深い学びにつながる数学的活動を通じた授業づくりについて、様々な学校での授業実践事例や、実際の教材について参観の先生方と考えることなど、豊富な具体を通じたご講演を頂いた。

この度もたくさんの先生方にご参加頂き、有意義な議論の時間にできた。次年度以降も春のセミナーでは公開授業研究会の形で実施し、またその内容についても深く検討していきたい。

**(3) 今後の現職研修セミナーの方向性について**

夏期現職研修セミナーについては、今後も大学生や大学院生そして若手教員を対象として実施していきたいと考えている。ここでは、授業づくり、特に数学的活動を通じた中学校数学の授業について講義と演習を行う中で参加者と共に考える時間を持っていく。授業づくりの時間は非常に有意義な時間になって入るが、現職の先生をもう少し取り込めると、我々や学生にとってもよりよいものになると考えられる。

春期現職研修セミナーは、今後も公開授業研究会の形で実施していく。春夏どちらにおいても、周知方法の工夫等により、より多くの先生方にご参会いただけるようにしていく。